

新年会 ビンゴゲームで歓声あがる

1月15日浪漫路(ローマンルー)で新年会が行われました。総勢44名の方が参加して下さい、和気あいあいとした雰囲気の中での楽しい時間でした。

大井代表の挨拶に始まり木村さんの乾杯の音頭、そして料理が運ばれ隣同士の語らいの中で時間が過ぎました。あちこちのテーブルで笑い声はじけ、会話が弾んでいました。食事が一段落したところでビンゴゲームが始まりました。「リーチ!」、「ビンゴ!」という声がかかるたびに歓声が上がりました。全員に景品が行き渡り小休止の後、りんごの皮むきゲームが始まりました。長さを競うゲームでしたが判定はなかなか難しいものでした。そして最後は河原さん、大井さん、山本さんの民謡で締めました。

皆様の感想をお聞きしても料理が美味しかった、部屋が広々として気持が良かった、ビンゴゲームが初めてで楽しかった、などの言葉と共に一様に楽しかったという言葉頂きました。昨年わかばの会が新しい事務所に移り、いろいろな同好会や催しに来て頂いているおかげで、沢山の皆さんが参加して頂いた事を感謝しています。これからもまたよろしくお願いたします。(運営委員イベント担当一同)



豊中市社協・災害支援訓練に参加して

1月19日(土)、豊中市社協・災害支援ネットワーク主催による災害支援訓練にナルクから3名が参加しました。

大阪府北部で震度6の地震が発生したと想定し、社協が設置した災害ボランティアセンターによるボランティアの受付、仕事の割り振り、被災者のニーズ調査等が「災害ボランティアセンター運営マニュアル」に沿って上手く機能するかどうかを検証する訓練です。



集合後、簡単に手順の説明を受けて、直ちに訓練が開始されました。ボランティアは災害ボランティアセンターの受付で情報発信、ニーズ調査、防災用品確認、非常食調理、テント・避難所設営等のチームに割り振られます。各チーム毎に指定された作業を行なうのですが、最初は何をどうすれば良いかが分からずウロウロするばかり。それでも、なんとか制限時間内に予定された作業を終える事ができました。

実際の災害時には、もっと現場は混乱していることが予想されます。ボランティアとしては指示に従うことはもちろん大切ですが、情報不足の中でも被災者のニーズを早く把握して的確な判断を行い、行動に移す事も必要と痛感しました。(宮地輝雄)

本文の文字を大きく、または読みやすいようにとのご意見を頂きました。今月号では特に2,3,4ページの字体を一部変えてみました。サイズは同じです。皆様のご意見をお寄せ下さい。(広報担当)